

# 『庄内っこ日和』

令和2年10月27日  
庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。  
この『庄内っこ日和』は、昨年度から掲示用として、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"でした。  
今回今年度初のひよこ、りす親子もりのこっこがあった為、お便りとして配信したいと思います。  
晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。  
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。

今回のもりのこっこのねらい: 親子で秋の季節を感じながら、自然物を使った遊びを楽しむ。

初の親子でもりのこっこ…内容は服部緑地公園で親子で自然遊びをしました。  
初めての取り組みだった為、保育者も保護者の方々も始めは少し緊張している様子でしたが、保護者の皆様も子どもと一緒に自然物を拾ったり、拾った物を活かして玩具を作ったりして楽しみました。  
庄内EXPOが今年度は、乳児が参加できないという事もあり、葉っぱをお金に見立ててお店屋さんごっこ風にして楽しみました。  
子ども達は、お母さんの手を引いて散策したい場所に行ったり、「キノコあったよ」と自然物を見つけ教えてくれたりしていました。  
昼食の際に保護者の皆様に、インタビューをさせて頂きました。今回は、保護者の皆様がもりのこっこを通して感じた事を掲載したいと思います。



ひよこ、りす親子でもりのこっこの様子(服部緑地)



## もりのこっこ後、保護者の皆様にインタビュー



### ①親子で楽しめた事

- ・落ち葉、どんぐりをひろった事が楽しかった。
- ・子どもが、絵具が好きと言うことを知る事が出来ました。
- ・どんぐりごまがとても楽しかったです。
- ・どんぐりの皮むきを集中してしていた。
- ・普段遊具で遊ぶ事が多いので、あまり経験出来ない事が出来た。
- ・走り回って遊ぶ事が出来た。
- ・自分で拾った物を使って、集中してアートにする事が楽しかった。
- ・小学校のお姉ちゃん(卒園児)が1番楽しんでた。
- ・子どもは、大人が気づかない小さいものを拾ってくる。
- ・家族で来ることが良かった。家族で触れることが出来て良かった。
- ・自然で一緒に楽しめた。色々遊べた、また連れてきたい。
- ・体を使って遊べる、走れる、こけても怪我をしないので大丈夫。(アスファルトなら怪我をするが)
- ・いつもは、何処かに連れて行って、決まったもので遊ぶことしかなかったが、自由に遊ばせたときの姿を見ることが出来た。

### ②自然の中で気づいた事

- ・親が楽しめば、子も楽しめる。
- ・道路に落ちているものは触るが、自然のものに対しては触るのは慎重だった。
- ・半年前に服部緑地に行ったがその時は連れて行っただけという気がした。
- ・今回は物をつかもうとするなど、その時からの成長を感じられた。
- ・こんなことをしているのかなど、園の姿を想像できた。
- ・葉っぱの色々あった、モノを買わなくてもそのまま楽しめる。
- ・自分(親)が童心に帰れた。
- ・どんぐりなど、自分の子どもの時にはあったものが、地域にはなくなって寂しい。自然はいい。
- ・自然の中で、いつもの姿と変わらずだった。
- ・いろいろな先生が話しかけてくれたり、いろいろ子どものための遊びを提供してくれたりしていけることが分かり、幼稚園が良いことが分かった。
- ・うちの子は葉っぱが好きなんだなと思いました。
- ・大きな帽子付きのどんぐりがあることを知り驚いた。
- ・鳩やカラスなど、生き物に興味を示す事を知った。
- ・服部緑地公園はとても開放的で、久しぶりにコロナを忘れて楽しめた。
- ・空気がとてもよく、葉の音が心地よかった。
- ・娘が木登りしているのを見て、自分もしていたことを思い出した。
- ・座り込んで座って遊んでいた。
- ・木のみを拾う事がすごく好きなんだなと気付きました。
- ・年少の姉よりも怖がらずに挑戦する様子があった。



今年度初のひよこ・りす親子もりのこっこは、保護者の皆様もお子さんと同様に童心に帰って思いっきり遊んで下さった事で、大成功に終わったと感じています。  
当幼稚園では、五感を使って遊ぶ事を大切にしています。特に嗅覚の記憶力が1番優れていると言われていいます。今回参加頂いた皆さんが活動を通して感じた事、触れた事、嗅いだ事など、一つでも心に残る経験があれば嬉しく思います。

お忙しい中ご参加頂きありがとうございました。